

21基金合計残高は28億円 町債残高は151億1千万円

◆白老町の財産状況

―基金は約5億円増加

まちの財産には、道路や公園、学校、公民館等の公共施設の土地や建物といった公有財産（表3）と現金や有価証券として保有している基金（表4）があります。

基金には、年度間の財源調整を目的とした財政調整基金のほか、さまざまな行政需要に使用するための21の特定目的基金があります。それらの基金すべての合計残高は、28億7200万円となっています。

区分	面積・金額
土地	2,315万㎡
建物	13万7千㎡
債権	1億89万円
その他	2億1,562万円

公共施設等整備基金は、公共施設の整備に利用され、令和3年度については町道整備や、橋梁の長

寿命化事業、公園の環境整備、中央公民館の照明器具改修などにそ

表4 主な基金の現在高（現金および有価証券）

区分	令和3年度末	令和2年度末	対前年増減
財政調整基金	127,181	110,606	16,575
町債管理基金	7,913	8,087	△174
公共施設等整備基金	53,245	39,449	13,796
役場庁舎建設基金	28,055	22,037	6,018
ふるさとGENKI応援寄附金基金	18,204	10,690	7,514
介護保険事業基金	12,966	9,527	3,439
退職金手当追加負担金積立基金	8,366	7,366	1,000
みんなの基金	8,296	8,313	△17
国民健康保険事業基金	7,349	5,849	1,500
体育振興基金	3,411	3,442	△31
社会福祉基金	2,807	1,807	1,000
文化振興基金	1,911	911	1,000
その他基金	7,529	7,464	65
合計	287,233	235,548	51,685

※残高は出納整理期間（5月末）までを対象としている（単位：万円）

◆町の借金の状況

―町債残高は9億円減少

それぞれ充当し、活用しています。また、ふるさと納税の一部を原資とするふるさとGENKI応援寄附金基金は、小中学校の特別支援教育支援員配置や、幼稚園・保育園副食費の保護者負担補助、ポロトミントラの遊具設置などに充当し、活用しています。

令和3年度末の町債（長期借入

金）の残高（現在高）は表5の通りです。全会計の合計は151億1300万円となり、うち一般会計90億1400万円、特別会計1億4000万円、企業会計59億6000万円となっています。

町債残高は、対前年比では、一般会計の3億200万円減をはじめ、全会計で約9億円減と順調に減少しています。その負担割合を示す実質公債費比率は、順調に改善しており、今後も計画的な地方債発行により安定した財政運営に努めていきます。

表5 町債の状況

区分	令和3年度末 （単位：万円）
一般会計	901,375
特 港湾機能施設整備事業	13,990
特 特別養護老人ホーム整備事業	0
企 水道事業	101,878
企 病院事業	0
企 下水道事業	494,105
合計	1,511,348